

ながらまち

長柄町から元気をお届けします。

医療従事者のみなさまを支える力になれますように。

「長柄町」のこと

長柄町は千葉県のほぼ中央に位置する町で、市原市、茂原市、長南町と隣接しています。人口は2020年7月時点で6,728人ほど、県内で2番目に人口が少ない町です。

町内にはスーパーマーケットも電車駅もないけれど、地元の方が愛情込めて作った新鮮な野菜やみそなどの農産加工品が買える道の駅があったり、ゆったりとした時間が流れる素敵なカフェがあったり、気になるスポットがたくさんあります。

「ながらとガラナ いろはにほへと」のこと

長柄町の特産飲料の開発プロジェクトがはじまったのは2019年のこと。「この町のらしさ」が表現できる飲み物とはどんなものなのか、役場や町内の事業者、千葉大学の学生が集まり話し合いました。

そんなとき、偶然飛び出したのが「ガラナ」というアイデアでした。

原料であるガラナの実には不老長寿の薬とする言い伝えがあり、エナジードリンクなどにも配合されている「元気の源」ともいえるべきものです。

一方、ガラナと言えば日本では北海道のご当地ドリンクというイメージが強く、どちらかと言えばマイナーな飲み物。しかし、スポーツができる施設があることや癒される里山の風景があること、代々受け継がれてきた伝統芸能や農業に誇りを持って取り組む生き生きとした町の人の姿などから「元気」な長柄町にぴったりの飲み物だと考えました。

—新型コロナウイルスの猛威と日々闘っている医療従事者の皆様への感謝と応援の気持ちを含め、長柄町の元気を詰め込んだガラナをお送りいたします。

千葉大学「ながらとガラナ いろはにほへと」開発チーム学生一同



開発に参加した千葉大生からのメッセージ

報道を見る度に、医療従事者の皆様がおられる最前線は私の想像では追いつかないほど逼迫したものなのだろうと感じています。皆様のご尽力あってこそ、日々の生活を営んでいるのだと深く感謝するとともに、微力ではありますが、皆様を心より応援しております。(法政経学部4年/藤澤ちひろ)

医療従事者の皆様が多くの人のために力を尽くしてくださっていることがメディアを通じて伝わってきており、日々感謝しながら過ごしています。自分も感染対策をしながら、少しでも早く収束することを願うばかりですが、皆様のことを応援しています。(国際教養学部4年/加治屋里奈)

